



高校生ふれあい懇談会 3月18日（月）郡上高等学校で開催

市の取組みや高校生の視点からのまちづくり等について意見、提案を伺う「高校生ふれあい懇談会」は、市内の高校2校が隔年で実施しています。今年は、郡上高校の代表のみなさんと日置市長、熊田教育長が懇談を行いました。地域に根ざした活動の発表をはじめ、取組みの中での課題や今後の目標について意見が交わされました。

郡上かるたでガチャ

郡上の魅力を地域の皆さんや観光客にもっと深く知ってもらいたいと考え、「郡上かるた」をヒントに、障がい者アーティストの方に作製していただいた編みぐるみや缶バッジをガチャに入れて販売しました。障がいのある方の活動や郡上の魅力を発信し、郡上の知名度を高める挑戦をこれからも続けていきます。

【市長】

郡上かるたをヒント、題材にさせていただいてうれしく思います。障がいのある方々が作られたものを活かしていくことは素晴らしいと思いました。どうしたら人気が出てくるか、さらに工夫していただければと思います。

【教育長】

郡上かるたは日置市長の発案でできたのですが、私も選考委員の一人でした。ガチャは外国人にも人気ですし、すぐく良い発想だと思いました。

未来へのトライアングル

全農、子ども、農家の三者が関わる仕組みを考えました。例えば、全農が着なくなった子供服を使って肥料を作り、その肥料を農家へ提供します。また、農泊支援を行うことで子どもが

農泊に参加します。そして、農家は子ども向けの栽培キットを提供します。他にも色々な関わりを持ち、未来へのトライアングルとして農業を活性化したいと考えています。

【市長】

全農、子ども、農家というそれぞれの立場の人たちが、こうして関係を構築していくことが非常に大切だと思います。

【教育長】

身近なところに田畑があることが当たり前のようには感じられませんが、実はすごい強みだと思います。皆さんのような発想で、農業の活性化に繋がることを期待します。

クヌギ育苗に適した容器の容量と根鉢の高さの検討

郡上高校森林環境科学科の主要な生産物である原木シイタケの原木となるクヌギの苗の容器と土量、根鉢の高さについて研究しました。令和4年に播種した苗を5年度に植栽することができたので、将来的には様々な機関と連携して、広葉樹に最適な容器の開発ができればと考えています。

【市長】

原木によるシイタケ栽培は一つの売りになると思いますが、

原木を確保することが非常に大切であると考えます。その原木を郡上の山で作ろうとされるのは素晴らしいと思いますし、今後さらに研究を進めていただければと思います。

【教育長】

日本では多くの原材料を輸入に頼っている中、クヌギの原材料に目を向けたというのはすごいと思います。

令和5年度生徒会活動報告

「初志貫徹」をスローガンに様々な学校行事を運営し、文化祭ではコロナ前のような活気を取り戻すことができました。また、能登半島地震を受け、何かできることはないか考え、募金活動を行いました。成果や課題を活かし、今後も活動を続けていきます。

【市長】

能登半島地震の募金活動など、その時々課題や新しいことを自分たちから始めていくんだという気概を持って取り組んでおられて感心しました。

【教育長】

生徒会活動で被災地に目を向け、郡上さえよければいいのではなく、市外、県外で起きていることまで自分たちのことのように考えられることは素晴らしいと思います。